

2025年度 造園施工管理のポイント

～ 造園施工に携わる技術者を対象とした人材育成研修 ～
開催案内

- ・造園工事の代表的な工種について善し悪しの判断ができる眼を培うこと
 - ・緑のストックの健全な育成に資するための技術者を養成すること
- を目的に、「造園施工管理のポイント」を分かりやすく解説するWEBによる研修です

受講対象

造園施工管理に携わる若手から中堅までの「日造協会員企業の技術者」

内 容

以下の5つの技法編から選択し受講（複数選択可）

- | | | |
|---------------|-------------|-------------------------|
| ①基礎編（65分） | ②配植技法編（90分） | ③剪定技法編（155分） |
| ④石工事技法編（130分） | ⑤移植技法編（85分） | NEW! ⑥竹垣技法編（55分） |

配信方式

WEBによる研修（パソコン・タブレット・スマホで視聴可）

※受講期間中は、都合の良い時間に何度でも受講できます。

お1人 3,300円（うち消費税10%相当額300円）×受講講義数

※例えれば①～⑥のすべての編を受講される場合は、3,300円×6=19,800円となります。

お振込み後、振込の内容が分かる書類を「cert@jalc.or.jp」宛に送信下さい。

※1社で5名以上申し込まれる場合は、まとめて受講申込・振込も可能です（事務局までご連絡下さい）。

※テキストは、ダウンロードしたものを使用します。

※領収書は発行しておりません。インボイス対応は本書類および右下隅の登録番号をご利用ください。

受 講 料

- 郵便局備付け振込用紙またはATMから振り込む場合 ●
振込先：郵便振替
口座：00130-2-550680
口座名義：(一社)日本造園建設業協会
通信欄：氏名または会社名、「人材育成研修」を記入
- 郵便局以外の金融機関から振り込む場合 ●
振込先：ゆうちょ銀行店番：019
店名（カナ）：〇一九店（ゼロイチキュウ店）
預金種目：当座口座番号：0550680
カナ氏名：シャニホンゾウエンケンセツギョウキヨウカイ

受講期間

2025年12月16日(火)～2026年3月16日(月)

申込方法

下記URLまたは二次元コードよりお申込み下さい。

<https://forms.office.com/r/6685zPdb47>



申込期間

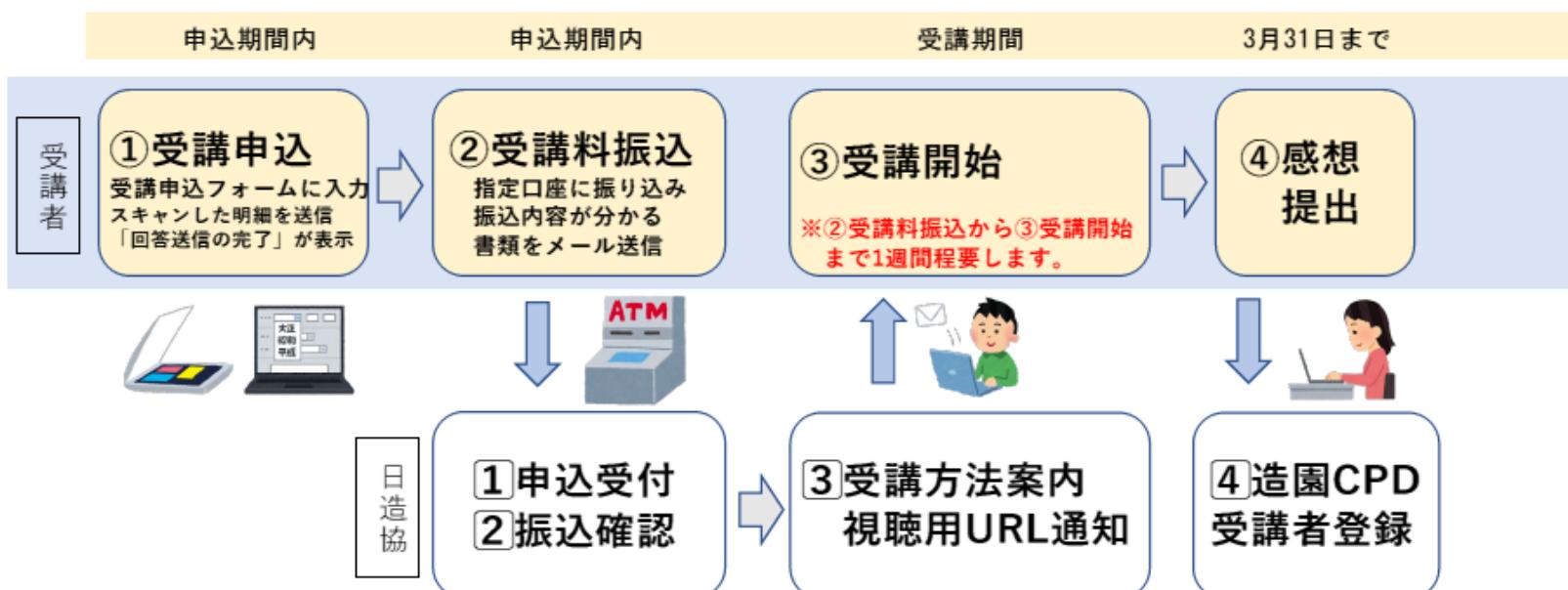
2025年12月16日(火)～2026年1月31日(土)

造園CPD

認定プログラム（単位は受講し感想提出後に自動登録となります）

※受講後（2026年3月31日まで）に、下記受講の流れの「④感想」を提出することで単位が取得できます。

受講の流れ





2025年度 造園施工管理のポイント

～ 造園施工に携わる技術者を対象とした人材育成研修 ～



研修内容

- ①基礎編
- ②配植技法編
- ③剪定技法編
- ④石工事技法編
- ⑤移植技法編
- ⑥竹垣技法編

- | | |
|---------------|----------------------------------|
| (65分) | 造園の歴史、造園技術の概説、ものづくりの作法などの造園技術の基礎 |
| (90分) | 配植の基本、配植技法、植物材料の選定などの植栽、配植の技術など |
| (155分) | 剪定に関する用語、街路樹や公園・緑地樹木の剪定の基本的技法など |
| (130分) | 石構築物の歴史、石材の基礎、石工事の技法など |
| (85分) | 移植に関する基礎、植物生理、移植の技法など |
| (55分) | 竹垣の基本構造、作り方、種類と実例、見方など |

①基礎編

(2)場を読み、場を活かし、場に相応しい景を創ること

造園のものづくりにおいて大事なことは、場を活かし、場に相応しい景を創ることです。すなはち、風土や歴史、周辺環境特性を最大限に引き出し、活かすことです。例えば、自然豊かな景勝地に植栽するすれば、主役は自然であり、植栽は脇役となる。近視眼的な物の見方を捨て、常に、場に相応しいかどうかを考え、ものづくりに当たることが大切である。

「日本造園業協会」

②配植技法編

3) 気勢と主従の関係

気勢とともに重要なのが、それぞれの樹強さのバランスである。すなはち、それぞれの樹木又は樹木群関係があり、主位にある樹木も従たる受けている。この関係は一方が強くても弱く離れすぎると縁が切れる。

従たる樹木群 主となる重要な樹木群
気勢の受け 気勢の方向 気勢と主従の関係

「日本造園業協会」

③剪定技法編

⑤剪定に当っての留意点

《枝の整理》
枝出かけ
枝出かけ

《こぶの切除》
以前となつすること。

I. 剪定の目的
II. 剪定に関する用語
III. 剪定の時期
IV. 樹木全般に関する剪定技法
V. 街路樹の剪定
VI. 公園・緑地樹木の剪定
VII. 景を創り育てる
VIII. 倒木・落枝事故の防止
IX. 病害虫防除
X. 参考

「日本造園業協会」

④石工事技法編

◆景石の施工上の留意点

◇根入れのおさまり
× ○

◇見付けのおさまり
× ○

I. わが国の石構築物の歴史
II. 石材に関する基礎知識
III. 石工事の技法
1. 景石
2. 滝・流れ石組工
3. 石積工
4. 石材系舗装工（石張工）
5. 園路縁石工・階段工・側溝
IV. おわりに
参考

「日本造園業協会」

⑤移植技法編

《環状剥皮とは》 環状剥皮とは、倒木防しながら剥皮部分からの発根を目的に行う（詳細は、後述「植物生理」の項参照）。

環状剥皮 模式図
直根の環状剥皮は、アカマツやクロマツなどの直根性樹木を対象に行なうことがある。

I. 移植に関する基礎知識
II. 植物生理
III. 根回しの実際
IV. 堀取り、積込み・運搬、植付け
V. 直接給水工法
VI. 大径木移植工法

「日本造園業協会」

⑥竹垣技法編

7. 竹垣の種類と実例

7-2. 機能（視覚効果）による違い

口透蔽垣
材料を隙間なく並べることにより、人の立ち入りを制限するだけではなく視線も遮ることにより、空間を強く区分したり景観に遮蔽効果を与える。

口透かし垣
材料を隙間を残して並べることにより、人の立ち入りを制限するだけではなく視線も遮ることにより、空間を柔軟に区分したり景観に遮蔽効果を与える。

I. はじめに
II. 暮らしと竹
III. 竹垣とは
IV. 竹材の種類
V. 竹垣の基本構造
VI. 竹垣の作り方
VII. 竹垣の種類と実例
VIII. 竹垣の見方
IX. いろいろな垣等

「日本造園業協会」

2025年度に新規追加